

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://mylibrary.maeda1.jp/MENAranking.html> )

マイライブラリー:0425

(注)本稿は 2017 年 11 月 1 日から 16 日まで 6 回に分けて「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

## 地域紛争と油価下落で低迷—MENA(中東・北アフリカ)の「人間開発指数」(2016年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その11)

掲載日 2017.11.23

前田 高行

目次	頁
1. 「Human Development Report 2016」について	2
2. 2015年の MENA の国別 HDI	2
3. 2014年と2015年の HDI 比較	3
4. 2015年の国別男女不平等指数(GII)	4
5. 2014年と2015年の GII 比較	5
6. 1990年～2015年の HDI の推移	6

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 カ国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第11回のランキングは、UNDP(国連開発計画)が毎年発表する世界各国の人間開発に関する報告書の最新版「Human Development Report 2016」から MENA 諸国をとりあげて比較しました。

## 1. 「Human Development Report 2016」について

UNDP の「Human Development Report 2016」(以下「HDR2016」)では、(1)188の国及び地域の人間開発指数(Human Development Index, HDI)の値と順位、(2)159の国と地域の男女不平等指数(Gender Inequality Index, GII)が発表されている。

レポート全文(英文) : [http://hdr.undp.org/sites/default/files/2016\\_human\\_development\\_report.pdf](http://hdr.undp.org/sites/default/files/2016_human_development_report.pdf)

UNDP 東京事務所プレスリリース:

[http://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/library/human\\_development/human\\_development1/hdr\\_2016.html](http://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/library/human_development/human_development1/hdr_2016.html)

### 人間開発指数(HDI)

HDIとは、人間開発の3つの基本的な側面——健康で長生きできるかどうか、知識を得る機会があるかどうか、人間らしい生活を送れるかどうか——について、進歩の度合いを長期にわたって測定するための総合的な指標である。健康と長寿に関しては出生時平均余命を、知識を得る機会に関しては成人の平均就学年数(25歳以上の人が生涯を通じて受けた教育年数の平均)と、就学年齢児童の生涯予測就学年数(現在の年齢別就学率が変わらないと仮定した場合に、いま就学開始年齢の子供が生涯を通じて通算何年間の学校教育を受けるかを予測した数字)を基準にしている。人間らしい生活(生活水準)に関しては、2005年の米ドル建て購買力平価(PPP)に換算した1人当たり国民総所得(GNI)を基準に用いている。

### 男女不平等指数(GII)

「男女不平等指数(GII)」は、リプロダクティブ・ヘルス(性と生殖に関する健康)、エンパワーメント、そして経済活動への参加の3つの側面で、ジェンダーに基づく不平等がどの程度存在するかを表す指数である。リプロダクティブ・ヘルスの状況は、妊産婦死亡率と15-19歳の女性1000人当たりの出生数で測定する。エンパワーメントの状況は、立法府の議席に占める割合と中・高等教育への進学状況を基準とする。経済活動への参加状況は、労働市場への参加率で判断する。GIIは、従来の「ジェンダー開発指数」と「ジェンダー・エンパワーメント指数」に代わる指数として導入された。GIIは、3つの側面における男女の不平等により、人間開発のレベルがどの程度損なわれているかを明らかにするものである。

(MENAでHDIが最も高いイスラエルとこれに続くGCC諸国!)

## 2. 2015年のMENAの国別HDI (末尾表11-T01参照)

MENAの中で人間開発指数(HDI)が最も高いのはイスラエルの0.899であり、世界順位も19位とかなり上位である。MENA2位以下はカタール(HDI 0.856、世界順位33位、以下同じ)、サウジアラビア(0.847、38位)、UAE(0.840、42位)、バハレーン(0.824、47位)、クウェイト(0.800、51位)とGCC各国がこれに続いている。UNCTADは人間開発指数が0.800以上の国を高々

度人間開発(VHHD)として全世界188カ国の内51カ国を VHHD に位置づけている。MENA では上記6カ国が VHHD とされているが、このうちイスラエルを除く5カ国は GCC である。

MENA7位以下の国の指数と世界順位は、オマーン(0.796、52位)、イラン(0.774、69位)、トルコ(0.767、71位)、レバノン(0.763、76位)、アルジェリア(0.745、83位)、ヨルダン(0.741、86位)、チュニジア(0.725、97位)及びリビア(0.716、102位)である。因みに HDI が0.700以上の国は高度人間開発(HHD)とされ、世界188カ国中の106カ国が VHHD 或いは HHD の国々である。MENA は19カ国1機関のうち14カ国が VHHD 或いは HHD にランク付けされている。

上記14カ国以外の MENA 各国は中位人間開発(MHD)国、或いは低位人間開発(LHD)の範疇となる。このうち MHD グループに入るのがエジプト(0.691、111位)、パレスチナ自治区(0.684、114位)、イラク(0.649、121位)、モロッコ(0.647、123位)の3カ国1機関である。そしてシリア(0.536、149位)及びイエメン(0.487、168位)は開発度が最も低い低度人間開発(LHD)グループに入っており、MENA 諸国の中でも特に低い。

MENA 諸国の平均指数は0.739であるが、アラブ諸国だけを対象とした場合の指数は0.687、全世界の平均指数は0.717である。アラブ諸国の平均が世界平均を下回っているが、冒頭で触れたとおり GCC 産油国は世界的にもかなり上位である。このことから MENA アラブ諸国は産油国と非産油国の格差が大きいと言える。

なお HDI が世界で最も高いのはノルウェー(0.949)であり、最も低いのは中央アフリカ(0.352)である。日本は HDI 0.903で世界17位にランク付けされている。米国は0.920、世界10、中国は0.738、世界90位である。米国及び日本は VHHD(高々度人間開発)のグループであるが、中国はヨルダンと肩を並べ高度人間開発(HHD)国グループに入っている。

(世界に後れを取る MENA 諸国！)

### **3. 2014年と2013年の HDI 比較** (末尾表 11-T01 参照)

2014年と2015年の人間開発指数(HDI)を比較するとアラブ諸国の平均 HDI は2014年が0.686、2015年は0.687でありほんのわずかながら向上している。しかし世界の平均 HDI は2014年の0.711が2015年は0.717と0.006アップしており、アラブ諸国は改善のスピードが遅いことが解る。そのことは MENA の世界平均順位が前回の80位から83位にダウンしていることにも表れている。

各国毎の順位の変動を見ると MENA 19カ国1機関の中で前回より順位がアップした国は3か国にとどまり、その他の16か国1機関は前回と順位が同等もしくはダウンしている。しかも世界順位がアップした国もモロッコ(126位→123位)、サウジアラビア(39位→38位)、トルコ(72位→71位)とアップ幅は小さい。これに対して順位が下落した国の中にはシリア(134位→149位)、レバノン(67位→76位)、リビア(94位→102位)、イエメン(160位→168位)などのように大きくダウンした国が少なくない。シリア、リビア、イエメンはいずれも内戦が長期化し治安の悪化に歯止めがかからない。

紛争当事国の人間開発指数は急速に悪化しているようである。

一方、HDI 指数で見ると前年より下がったのはシリア、レバノン、リビア、イエメンの上記4カ国のほかクウェイト、ヨルダン及びイラクの合計7カ国だけであり、他の12カ国1機関は前年より指数がアップしている。例えば MENA1位と2位のイスラエル及びカタールはいずれも指数がアップしているにもかかわらず、世界順位は下がっている。これは世界平均の指数の上昇幅が MENA の多くの国を上回っているからである。MENA 各国が世界から取り残されていることを示している。

MENA 諸国間の順位を前回と比べると MENA の順位にほとんど変化はない。下位グループのエジプト、パレスチナ、イラク、モロッコ各国は前回、今回共に HDI が0.700未満の中位人間開発(MHD)にとどまっており、シリアは中位開発国から低位開発国に転落、イエメンは前回、今回ともに MENA 最下位にとどまっている。

なお世界1位は2年連続でノルウェーであり同国の HDI は0.944から0.949にアップしている。日本、米国及び中国を見ると、日本は HDI が0.891から0.903にアップし、世界順位も20位から17位に上昇しており、MENA1位、世界19位のイスラエルよりランクが高い。米国は HDI がアップ(0.915→0.920)したにもかかわらず、世界順位は8位から10位に落ちている。中国は HDI ポイントを0.011アップしたが順位は前回と同じ世界90位である。

(軒並み順位を下げた MENA 諸国！)

#### 4. 2015年の国別男女不平等指数(GII) (末尾表 11-T02 参照)

男女不平等指数(GII)は、リプロダクティブ・ヘルス(性と生殖に関する健康)、エンパワーメント、そして経済活動への参加の3つの側面で、ジェンダーに基づく不平等がどの程度存在するかを表す指数である(第1項参照)。GIIが MENA で最も低い(つまり男女平等が最も進んでいる)国はイスラエルでGII指数は0.103、世界19位である。イスラエルに次いで MENA でGIIが2番目に低い国はリビアで同国のGII指数は0.167、世界順位38位である。リビアに続いて UAE(指数:0.232、世界順位46位)、バハレーン(同0.233、48位)及びサウジアラビア(同0.257、50位)が世界50位以内に入っている。

これを人間開発指数(HDI、第2項)と比較すると、イスラエル、サウジアラビア、UAE、バハレーン、オマーンなどは HDI と GII の世界順位におおきな隔たりは無いが、リビアは GII 順位(38位)が HDI 順位(102位)よりも極めて高く、チュニジアも同様の傾向にある。ともに人間開発指数が低いにも関わらず男女平等の程度が世界的にも高い水準にあることを示している。一方カタールは GII 順位が127位と世界の低位グループにとどまっているが、HDI の順位は世界33位であり、人間開発度は高いが男女の不平等格差が極めて大きいとされている。GII は女性の政治・経済活動への参加の程度を算定基準としているがカタールはこの面で大きく遅れていると考えられる。

上記の他 GII の世界順位が100位までの国はチュニジア(GII 指数0.289、世界58位、以下同じ)、トルコ(0.328、69位)、クウェイト(0.335、70位)、レバノン(0.381、83位)及びアルジェ

リア(0.429、94位)の5か国である。GII 世界順位が100位以下の国はヨルダン(0.478、111位)の他モロッコ(0.494、113位)、イラン(0.509、118位)の各国が110位台にひしめき、イラク(0.525、123位)、カタール(0.542、127位)、シリア(0.554、133位)、エジプト(0.565、135位)と続いている。MENA 最下位はイエメンで同国は世界最下位の159位でもあり、そのGII 指数は0.767と直近のエジプトとの格差が極めて大きい。(なおパレスチナ自治区はGII の評価対象外)。

男女不平等指数(GII)世界100位以下の国について人間開発指数(HDI)と比べると、モロッコ、イラク、エジプト、イエメンは HDI も100位以下である。これに対してカタールは上記の通り HDI の世界順位が33位であり人間開発と男女の不平等の格差が際立っている。同国の場合は国政への参加率(女性国会議員の比率)の低さが反映したものと考えられる。カタールはアルジャジーラ放送や欧米大学の誘致、モーザ前首長妃の活躍など一見進歩的で女性重視の印象があるにもかかわらず実態的には男女格差はかなり大きいと評価されている。

なおアラブ諸国の平均GII は0.535であり、全世界平均の0.443に比べかなり見劣りがする。因みに日本のGII は0.116で世界では21位である。これに対し米国の世界順位は43位、中国は37位で米国のGII 順位は中国よりも低い。米国の人間開発指数(HDI)が世界10位であるのに比べGII の低さが際立っている。

(世界平均を上回るアラブ諸国！)

## 5. 2014年と2015年のGII 比較 (末尾表 11-T02 参照)

2014年と2015年のGII(ジェンダー不平等指数)を比較するとアラブ諸国の平均GII は2014年の0.537に対して2015年は0.535でありわずかながら改善されている。全世界平均では2014年(0.449)と2015年(0.443)では0.006アップしているのに比べるとアラブ諸国の改善の度合いは少し低い。これはHDI(人間開発指数)と同じ傾向を示している。

各国毎に見ると世界順位がアップした国は6カ国、同じ順位の国が1カ国、順位がダウンした国は12カ国であり、順位を落とした国の方が多い。もっとも順位を上げた国はクウェイトであり前年の79位から今回は70位にアップしている。一方順位がダウンした国の中には大きく下がった国が少なく、シリアは119位から133位へと14ランク下げしており、その他カタール(116位→127位)、リビア(27位→38位)、チュニジア(48位→58位)なども10ランク以上下がっている。

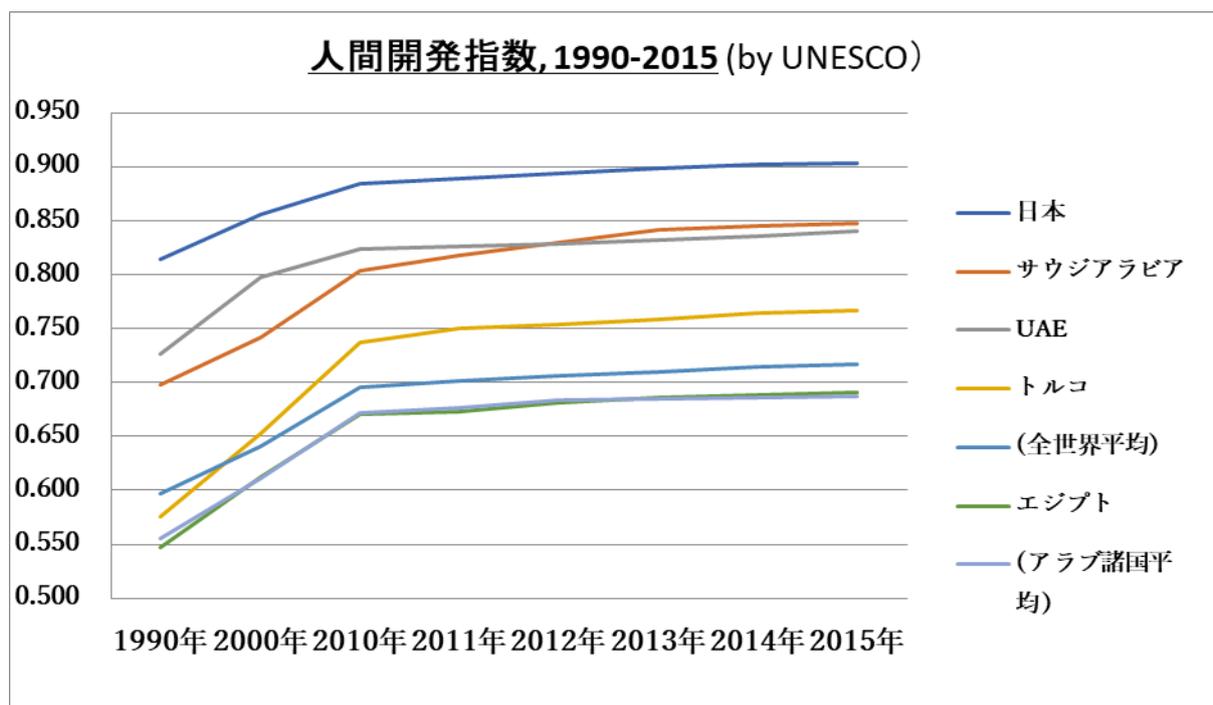
指数で見た場合はアップした国とダウンした国は同じ9か国ずつで、変動のない国が1カ国である。指数が最も上がった国はクウェイトであり、逆に指数が最も下がったのはチュニジアである。なお指数が前回よりアップしたにもかかわらず順位がダウンした国がレバノン、エジプト及びイランの3カ国である。指数が改善しても世界順位が上がらないと言う結果になっている。

MENA 諸国内の順位で比べるとイスラエル、リビア及びUAE の上位3カ国は変動がなく、またエジプト(18位)及びイエメン(19位)も2年連続で最下位である。

日本、米国及び中国を見ると、日本は GII が0.133から0.116に改善しており、世界順位も前回の26位から今回は21位に躍進している。米国は GII 指数が0.280から0.203と世界平均(0.449→0.443)を大きく上回る改善度を示し、世界順位も55位から43位に上がっている。今回の43位は MENA ではリビア(世界38位)と UAE(同46位)の間に位置している。中国は GII ポイントが0.027改善し、世界順位も40位から37位に上昇している。

(1990年から2010年までに大きく改善した人間開発指数！)

## 6. 1990年～2015年の HDI の推移



ここでは MENA 諸国の中からサウジアラビア、UAE、トルコ及びエジプトの4カ国を取り上げ、これに日本、全世界平均、アラブ諸国平均を加えて1990年から2015年までの HDI の推移を比較する。

1990年時点では日本は既にHDI指数が0.814の高々度人間開発(VHHD)国であり、UAE(0.726)は高度人間開発(HHD)国であった。またサウジアラビアは指数が0.698で HHD まであと一息の地位にあった。また全世界平均(0.597)、トルコ(0.576)、アラブ諸国平均(0.556)は指数0.550以上の中位人間開発(MHD)レベルにあり、エジプト(0.547)は低度人間開発(LHD)国であった。

2010年までに全世界の平均は0.641にアップし、日本も0.814→0.884に改善しているが、アラブ諸国の人間開発度は世界平均を上回るペースで上昇した。即ちエジプトは0.547(1990年)→0.612(2000年)→0.671(2010年)と指数が大きく上昇しており、アラブ諸国の平均もこれとほぼ同じ足跡をたどっている。サウジアラビアと UAE も指数は0.698→0.742→0.803及び0.726→0.798→0.824とそれぞれ大きく改善し HHD から VHHD グループ入りを果たしてい

る。特に顕著なのがトルコであり同国は1990年の0.576が2000年には0.653、さらに2010年には0.737と指数が大幅にアップ、MHD から HHD のグループに上がっている。

2010年から2015年にかけては人間開発指数は年々改善しているものの伸びが鈍化している。全世界平均では2010年の0.696から2015年の0.717まで5年間で0.021ポイント上昇している。日本の場合は0.884(2010年)→0.903(2015年)で0.019ポイントの伸びであった。これに対してその間のアラブ諸国の平均は0.696→0.717と0.023ポイントの上昇で世界平均を上回るアップを示している。このような中でサウジアラビアは2010～14年にかけて他国を上回るスピードで指数を上げており2012年以降は UAE の指数を上回り世界ランクが UAE を追い越す勢いを見せている。

但し先に述べた通り前回2014年からアラブ諸国は指数が上昇しても世界ランクが低下する国が続出している。アラブ諸国は世界の人間開発度の上昇に追いつかない傾向が出ており、今後を注視する必要があるそうである。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行      〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

## 人間開発指数(Human Development Index, HDI)

国名	2015年(188か国)			2014年(188か国)			2014年/2015年比較		
	HDI 指数	世界 順位	MENA 順位	HDI 指数	世界 順位	MENA 順位	HDI 指数	世界 順位	MENA 順位
イスラエル	0.899	19	1	0.894	18	1	0.005	▲ 1	0
カタール	0.856	33	2	0.850	32	2	0.006	▲ 1	0
サウジアラビア	0.847	38	3	0.837	39	3	0.010	1	0
UAE	0.840	42	4	0.835	41	4	0.005	▲ 1	0
バハレーン	0.824	47	5	0.824	45	5	0.000	▲ 2	0
クウェイト	0.800	51	6	0.816	48	6	▲ 0.016	▲ 3	0
オマーン	0.796	52	7	0.793	52	7	0.003	0	0
イラン	0.774	69	8	0.766	69	9	0.008	0	1
トルコ	0.767	71	9	0.761	72	10	0.006	1	1
レバノン	0.763	76	10	0.769	67	8	▲ 0.006	▲ 9	▲ 2
アルジェリア	0.745	83	11	0.736	83	12	0.009	0	1
ヨルダン	0.741	86	12	0.748	80	11	▲ 0.007	▲ 6	▲ 1
チュニジア	0.725	97	13	0.721	96	14	0.004	▲ 1	1
リビア	0.716	102	14	0.724	94	13	▲ 0.008	▲ 8	▲ 1
エジプト	0.691	111	15	0.690	108	15	0.001	▲ 3	0
パレスチナ自治区	0.684	114	16	0.677	113	16	0.007	▲ 1	0
イラク	0.649	121	17	0.654	121	17	▲ 0.005	0	0
モロッコ	0.647	123	18	0.628	126	18	0.019	3	0
シリア	0.536	149	19	0.594	134	19	▲ 0.058	▲ 15	0
イエメン	0.487	168	20	0.498	160	20	▲ 0.011	▲ 8	0
(MENA 平均)	0.739	83	-	0.741	80	-	▲ 0.001	▲ 3	-
(アラブ諸国平均)	0.687	-	-	0.686	-	-	0.001	-	-
(全世界平均)	0.717	-	-	0.711	-	-	0.006	-	-
(世界1位)ノルウェー	0.949	1	-	0.944	1	-	0.005	0	-
日本	0.903	17	-	0.891	20	-	0.012	3	-
米国	0.920	10	-	0.915	8	-	0.005	▲ 2	-
中国	0.738	90	-	0.727	90	-	0.011	0	-

Source: Human Development Index by UNESCO

<http://hdr.undp.org/en/reports/global/hdr2016/>

## ジェンダー不平等指数(Gender Inequality Index, GII)

国名	2015年(159か国)			2014年(155か国)			2014年/2015年比較		
	GII 指数	世界順位	MENA 順位	GII 指数	世界順位	MENA 順位	GII 指数	世界順位	MENA 順位
イスラエル	0.103	19	1	0.101	18	1	▲ 0.002	▲ 1	0
リビア	0.167	38	2	0.134	27	2	▲ 0.033	▲ 11	0
UAE	0.232	46	3	0.232	47	3	0.000	1	0
バハレーン	0.233	48	4	0.265	51	5	0.032	3	1
サウジアラビア	0.257	50	5	0.284	56	7	0.027	6	2
オマーン	0.281	54	6	0.275	53	6	▲ 0.006	▲ 1	0
チュニジア	0.289	58	7	0.240	48	4	▲ 0.049	▲ 10	▲ 3
トルコ	0.328	69	8	0.359	71	8	0.031	2	0
クウェイト	0.335	70	9	0.387	79	10	0.052	9	1
レバノン	0.381	83	10	0.385	78	9	0.004	▲ 5	▲ 1
アルジェリア	0.429	94	11	0.413	85	11	▲ 0.016	▲ 9	0
ヨルダン	0.478	111	12	0.473	102	12	▲ 0.005	▲ 9	0
モロッコ	0.494	113	13	0.525	117	15	0.031	4	2
イラン	0.509	118	14	0.515	114	13	0.006	▲ 4	▲ 1
イラク	0.525	123	15	0.539	123	17	0.014	0	2
カタール	0.542	127	16	0.524	116	14	▲ 0.018	▲ 11	▲ 2
シリア	0.554	133	17	0.533	119	16	▲ 0.021	▲ 14	▲ 1
エジプト	0.565	135	18	0.573	131	18	0.008	▲ 4	0
イエメン	0.767	159	19	0.744	155	19	▲ 0.023	▲ 4	0
パレスチナ自治区	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(MENA 平均)	0.393	-	-	0.395	-	-	▲ 0.002	-	-
(アラブ諸国平均)	0.535	-	-	0.537	-	-	0.002	-	-
(全世界平均)	0.443	-	-	0.449	-	-	0.006	-	-
日本	0.116	21	-	0.133	26	-	0.017	5	-
米国	0.203	43	-	0.280	55	-	0.077	12	-
中国	0.164	37	-	0.191	40	-	0.027	3	-

Source: Human Development Index by UNESCO

<http://hdr.undp.org/en/reports/global/hdr2016/>